

井上 浩 二議員



(一般質問)
1 高齢者に対するスポーツの推進について

競技に影響が及ぶフェンス

設置を見直す考えは？

グラウンドゴルフ場

問

高齢者がスポーツに取り組むことは、身体的にも心理的にも多くのメリットがある。高齢者の健康を推進するために、老朽化が進むスポーツ施設の整備は急務である。

特に、小松中央公園グラウンドゴルフ場は、公益社団法人日本グラウンドゴルフ協会の認定コースであり、多くの高齢者が利用しているが、令和2年にいのししによる被害を受けてから、4年が経過している。市は、いのししに荒らされた箇所は芝生の復旧



いのしし被害の拡大防止に固定フェンスを設置工事中

は行わず、その境に頑丈な固定フェンスを設置する工事に着手しているが、競技に影響を及ぼすため、工事を見直す考えはないのか。

答

現状として、使用エリアと使用中止エリアの境にスチール製の防護柵を設置しているが、既存の芝生部分を確実に守るために、現在より強固な固定式鉄製フェンスの設置を施工しているところである。フェンスの一部は、開閉可能な仕様としているため、使用中止エリアの維持管理作業も可能な状況となつて

いる。

現状の認定コースにより、競技運営に支障を来していないため、使用を中止しているエリアについては修復する予定はないが、これ以上、いのししの被害が広がらないよう、現在、いのししの被害がない認定コースを保守することを最優先とし、既存の芝生部分を守っていきたいと考えている。

森川 亜紀議員



(一般質問)

1 市内高等学校における福祉コースの開設に向けた認識について
2 教育環境の充実について

開設に向けた取組は？

市内高等学校の福祉コース

問

市内高等学校で福祉コースが開設された場合、

同コースでは具体的にどのような科目や内容を学ぶことができるのか。また、福祉に関する実習や地域との連携などの実践的な学びの機会も検討されているのか。

答

学習内容については、これから関係各所・機関と調整していくが、介護福祉や社会福祉関係の国家資格取得のための教科履修を考えている。また、実際の介護現場や地域での体験学習が必要であるため、市内の介護事業者や地域へ丁寧な説明し、実習などの履修への理解・協力を求めている。

なお、福祉コースの開設について、現時点では白紙の状態であり、関係各所・機関にあらかじめ開設に係る要望をしていきたい。



どう取り組む？

教職員の労働環境改善

問

教育の質的向上のためには、教職員の労働環境の改善が欠かせないが、業務が増大・過多となっている教職員の心的負担軽減のための相談体制強化や専門家によるカウンセリングなどの心理的サポートについて、どのように充実していくのか。

答

教職員の心理面でのサポートについて、県教育委員会では、教職員のための学校内カウンセラーの配置や年1回のストレスチェック実施により、教職員が自身の心の健康状態を把握できる体制を整えている。更に、今年度からAIメンタルヘルシステムを導入し、24時間オンラインでの相談や心の状態の診断を実施している。

また、市教育委員会でもピアサポート（職場での相互支援）やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進し、教職員の心身の過労や疲労の軽減及び蓄積防止を図っていききたい。